

# 議会 だより

鳴門市  
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会  
編集／議会広報委員会  
発刊／2015年(平成27年)6月1日  
<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

## 目次

- 平成27年第1回定例会の主な審査状況 ②
- 平成27年第1回定例会の提出議案と議決結果 ③
- 請願の処理、意見書 ④
- 委員会審査から ⑤
- 一般質問 ⑥～⑬
- 平成27年第2回定例会の開催予定、人事案件 ⑬
- 平成27年度当初予算  
平成26年度補正予算審査 ⑭～⑮
- 議会活動、市民の広場 ⑯

表紙写真を募集しています。詳しくは最終面へ

## 鳴門市内就職者激励大会

新規就職者に  
激励の挨拶をする  
藤田茂男議長  
(平成27年4月8日)



# 平成27年第1回定例会の主な審査状況

## 2月18日(水) 第1回定例会 開会 予算決算委員会

- 市長より市政についての所信が表明され、平成27年度一般会計予算案など議案37件、報告1件が上程されました。
- 議案14件を予算決算委員会に付託しました。
- 平成27年度当初予算にかかる議案14件、報告1件の全体説明を受けました。

## 2月24日(火) 一般質問

- 5会派による代表質問を行いました。

## 2月25日(水) 一般質問

- 議員5名による個人質問を行いました。

## 2月26日(木) 一般質問／予算決算委員会

- 議員3名による個人質問を行いました。
- 市長より平成26年度一般会計補正予算案など議案12件が上程されました。
- 附属機関設置審査特別委員会を設置しました。
- 議案34件、請願1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- 平成26年度補正予算にかかる議案12件の全体説明を受けました。



## 2月27日(金) 総務文教委員会

- 付託された議案8件および請願1件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願は不採択とすべきと決しました。
- その他の報告5件について担当課より説明を受けました。

## 3月2日(月) 生活福祉委員会

- 付託された議案9件および請願4件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願2件は採択、1件は不採択、1件は継続審査とすべきと決しました。
- その他の報告1件について担当課より説明を受けました。

## 3月3日(火) 産業建設委員会

- 付託された議案5件および請願1件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願は採択すべきと決しました。

## 3月4日(水) 予算決算委員会 第1分科会

- 企画総務部、消防本部、教育委員会等の予算案について審査を行いました。

## 3月5日(木) 予算決算委員会 第2分科会

- 市民環境部、健康福祉部の予算案について審査を行いました。

## 3月6日(金) 予算決算委員会 第3分科会

- 経済建設部、企業局等の予算案について審査を行いました。

## 3月10日(火) 本会議 附属機関設置審査特別委員会 総務文教委員会

- 市長より工事請負契約の締結についての議案1件が提出され所管の常任委員会に付託しました。
- 附属機関設置条例の一部改正について審査を行いました。
- 付託された議案1件について審査を行いました。

## 3月12日(木) 予算決算委員会

- 全体質疑のうち特別質疑を行いました。

## 3月13日(金) 予算決算委員会

- 各分科会から報告を受け、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。

## 3月17日(火) 第1回定例会 閉会

- 第1回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受け、採決を行った結果、議案50件はいずれも可決、請願3件は採択しました。また、請願2件については不採択としました。
- 議会運営委員会より議案1件が提出され可決しました。
- 各常任委員会で請願が採択されたこととともない、議員より意見書3件が提出され、採決の結果、いずれも可決しました。
- 市長より人事案件2件が提出され、同意しました。

## 《 平成27年第 1 回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会		
議案第 3 号	平成27年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算		
議案第 4 号	平成27年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算				
議案第 5 号	平成27年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算				
議案第 6 号	平成27年度鳴門市介護保険事業特別会計予算				
議案第 7 号	平成27年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算				
議案第 8 号	平成27年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計予算				
議案第 9 号	平成27年度鳴門市産業団地開発事業特別会計予算				
議案第10号	平成27年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算				
議案第11号	平成27年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算				
議案第12号	平成27年度鳴門市給与費等管理特別会計予算				
議案第13号	平成27年度鳴門市公債費管理特別会計予算				
議案第14号	平成27年度鳴門市水道事業会計予算				
議案第15号	平成27年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算				
議案第16号	平成27年度鳴門市水道事業会計資本剰余金の処分について				
議案第40号	平成26年度鳴門市一般会計補正予算(第 6 号)				
議案第41号	平成26年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 2 号)				
議案第42号	平成26年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)				
議案第43号	平成26年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第 2 号)				
議案第44号	平成26年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)				
議案第45号	平成26年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第 2 号)				
議案第46号	平成26年度鳴門市産業団地開発事業特別会計補正予算(第 1 号)				
議案第47号	平成26年度鳴門市光熱水費等支出特別会計補正予算(第 1 号)				
議案第48号	平成26年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算(第 1 号)				
議案第49号	平成26年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算(第 1 号)				
議案第50号	平成26年度鳴門市水道事業会計補正予算(第 2 号)				
議案第51号	平成26年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算(第 3 号)				
議案第17号	鳴門市行政手続条例の一部改正について			原案可決	総務文教
議案第18号	鳴門市職員諸給与条例の一部改正について				
議案第19号	鳴門市単純労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について				
議案第20号	鳴門市職員退職手当支給条例の一部改正について				
議案第21号	鳴門市事務分掌組織条例の一部改正について				
議案第22号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について				
議案第23号	鳴門市立幼稚園における預かり保育の実施に関する条例の一部改正について				
議案第24号	鳴門市立幼稚園条例の一部改正について				
議案第52号	工事請負契約の締結について(旧鳥居記念博物館耐震改修工事のうち建築工事(その 2))				
議案第25号	鳴門市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決	生活福祉		
議案第26号	鳴門市介護保険条例の一部改正について				
議案第27号	鳴門市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について				
議案第28号	鳴門市指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について				
議案第29号	鳴門市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について				
議案第30号	鳴門市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について				
議案第31号	鳴門市男女共同参画推進条例の制定について				
議案第32号	鳴門市立保育所条例の制定について				
議案第33号	鳴門市保育の実施に関する条例の廃止について				
議案第34号	鳴門市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について			原案可決	産業建設
議案第36号	新たに生じた土地の確認について				
議案第37号	字の区域の変更について				
議案第38号	鳴門市と丸亀市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の委託に係る協議について				
議案第39号	鳴門市と宮島競艇施行組合との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の委託に係る協議について				
議案第35号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決	附属機関設置審査特別		
報告第 1 号	弾力条項の適用について(平成26年度鳴門市モーターボート競走事業会計)	報 告	予算決算		
発議第 1 号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決			
意 第 1 号	国による乳幼児(義務教育就学前児童)医療費無料制度の創設を求める意見書	原案可決			
意 第 2 号	国民健康保険療養費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める意見書	原案可決			
意 第 3 号	海洋環境整備事業の充実と「緊急確保航路」の指定を求める意見書	原案可決			
同意第 1 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意			
諮問第 2 号	人権擁護委員の推薦について	同 意			

## 請願の処理

請願番号	案 件	審議結果	所管の委員会
請願第5号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願書	不採択	総務文教
請願第10号	介護従事者の処遇改善を求める請願書	不採択	
請願第11号	国による乳幼児(義務教育就学前児童)医療費無料制度の創設を求める意見書に関する請願書	採 択	生活福祉
請願第12号	国民健康保険療養費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める意見書に関する請願書	採 択	
請願第13号	海洋環境整備事業の充実と「緊急確保航路」の指定を求める意見書採択に関する請願書	採 択	産業建設

「請願第9号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書」については、委員会の審査において継続審査となりました。平成27年第2回定例会で、再度審査を行う予定です。

🔄 定例会で可決された意見書は各関係機関へ送付しました 🔄

### 国による乳幼児(義務教育就学前児童)医療費無料制度の創設を求める意見書

わが国の合計特殊出生率は、2006年から若干回復して2013年には1.43となりましたが、人口を維持するのに必要な合計特殊出生率2.08への回復は、依然として困難である。

また、出生数・出生率そのものは減少しており、2001年(人口1000対9.3)から2013年(人口1000対8.2)に落ちている。さらに、2013年4月1日現在の子ども数(15歳未満の推計人口)は32年連続の減少で、総人口に占める子どもの割合は39年連続の低下となる12.9%で世界最低水準値である。

少子化の進行は、人口構造の高齢化や将来の生産年齢人口の減少にもつながり、子どもの健全な成長への影響のみならず、社会経済や社会保障のあり方にも重大な影響を及ぼすことが懸念される。

こうしたことから、子育て家庭の経済的負担を軽減する措置が少子化対策の重要施策となっており、本県をはじめとするすべての都道府県及び市区町村において、乳幼児・児童医療費助成制度が実施されている。

しかしながら、市町村の制度内容の格差が年々拡大している状況である。

児童期までの年代は、病気に罹りやすく、また、アトピー性皮膚炎、小児喘息など長期の療養を要する病気も増加しており、病気の早期発見と早期治療、治療の継続を確保する上で、医療費助成制度は極めて重要な役割を担っている。さらに、厚生労働省が推進する「8020」運動の達成のためには、永久歯が完成する中学校時期までの口腔管理の充実を図るためにも同制度の果たす役割は大きくなっ

ている。

このような地方公共団体の施策を一層充実させ、子どもを安心して産み、育てることのできる社会の実現をめざすには、地方制度の安定化が必要であり、そのためには国による支援が不可欠である。

よって、政府におかれては、当面、義務教育就学前児童に対する医療費無料化制度を早期に創設されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年3月17日

鳴門市議会

### 国民健康保険療養費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める意見書

今日の少子化の深刻な進行と不況下において、子育て中の若年世帯への直接的な経済援助、育児への心理的支援として、乳幼児医療費助成制度はすべての都道府県、すべての市区町村において実施されている。その中で今、解決を待たれている問題として、医療費助成方法の現物給付方式への改善がある。

医療費助成相当額を償還払いとする方式においては、患者は窓口でいったん一部負担金を支払い、償還されるのは2か月後になっている。一方、現物給付方式においては、窓口

での支払が不要となり、助成制度の主旨が生かせることから、この方式への改善が求められている。

ところが、自治体独自の助成創設・実施を妨げている要因に、国民健康保険に対する国庫負担金の調整の規定(国民健康保険法第71条、国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令第3条)がある。この規定により、乳幼児医療費助成制度等の各種の医療費助成制度に現物給付方式を採用する地方公共団体は、国保国庫負担金の減額を余儀なくされ、財政運

営上の支障となっている。これはまた、政府が推進する少子化対策に矛盾する措置である。

よって、政府におかれては、乳幼児・児童医療費助成制度に係る国保国庫負担金の調整(減額)を廃止されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年3月17日

鳴門市議会

### 海洋環境整備事業の充実と「緊急確保航路」の指定を求める意見書

今、国の事業として進められている海洋環境整備事業は、海上の浮遊ゴミや油の回収によって船舶航行の安全を守り、海洋の豊かな自然環境を維持しており、住民の生活や安全に欠かせない大切な国の役割です。ここ瀬戸内海においても船舶事故などによる油流出事故が発生しており、油防除体制の強化や海面浮遊ゴミ・油回収事業の体制の充実が求められます。東日本大震災の教訓をもとに、一昨年6月には「港湾法」が改正され、非常災害時における、港湾機能の維持・早期復旧を目

的とした「緊急確保航路」が定められ、昨年1月には、三大湾(東京湾・伊勢湾・大阪湾)が「緊急確保航路」に指定されましたが、南海トラフ巨大地震などの防災対応が急がれるもとで、三大湾以外の瀬戸内海においても、非常災害時における国の責任と役割として、早急に「緊急確保航路」に指定されることが重要です。

以上のことから、次の事項の実現を強く要望します。

1. 海洋の環境と船舶航行の安全を守る、海洋

環境整備事業を国の役割として充実させること。

2. 非常災害時の緊急支援助物資の輸送や港湾機能の維持・早期復旧を行う「緊急確保航路」の指定を瀬戸内海について行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年3月17日

鳴門市議会

# 委員会審査から

## 審査特別委員会 附属機関設置

### ● 議案第35号 鳴門市附属機関設置条例の一部改正について

〔説明〕 鳴門市児童福祉審議会の担任意務の追加及び、鳴門市いじめ問題等対策委員会、鳴門市いじめ問題再調査委員会、鳴門市水道事業審議会を、新たな附属機関として設けるため所要の改正を行うもの。

〔意見〕 事務局からの提案を追認するためだけの鳴門市児童福祉審議会とならないように。

〔要望〕 いじめ問題等対策委員会の設置までに至らないような対策の実施や学校への支援、子どもからのサイン等に早期に気づき、子どもの目線にたった対応に努めてほしい。

〔要望〕 水道事業は、黒字との認識が強いが、老朽化した設備の整備のために膨大な事業費が必要であるなど、水道事業の実態を正確に伝えてほしい。

## 総務文教委員会

### ● 議案第24号 鳴門市立幼稚園条例の一部改正について

〔説明〕 平成27年4月1日から子ども・子育て支援新制度が本格施行されることに伴い、給付費制度が導入され、これまでの公立幼稚園や保育所の保育料のあり方に変更が生じたことから、幼稚園保育料の見直しを行うなど、所要の改正を行うもの。

〔質疑〕 幼稚園の保育料について、所得にかかわらず園児1人1月あたり8,800円だったが、今回の改正で応能負担となることについて影響は。

〔説明〕 本市の現状として、資産見込みでは給付対象者の約半数が負担増となるが、保育料総額では従来とあまり変わらないか若干下がる見込みである。

## 生活福祉委員会

### ● 議案第26号 鳴門市介護保険条例の一部改正について

〔説明〕 第1号被保険者の介護保険料について、第6期介護保険事業計画の策定にあわせて、3年に一度の見直しを行うとともに、還付・充当についての手続きを明文化するための規定を追加し、また、介護保険法の改正により実施することとされた地域支援事業の新規事業実施の猶予期間を条例において規定するための所要の改正を行うもの。

〔質疑〕 他の市町村も今回、国から示された基準に従い保険料率を設定する予定であるのか、また、今回、値上げすることについては、事業が財政的に切羽詰まった状況にあるためと考えてよいのか。

〔説明〕 他団体においても同じ状況にあると考えており、また、本市においては、国から示された9段階の基準に、市独自に3段階を加え、12段階として、負担の平準化を図る予定であり、今後の介護給付費や認定者数を想定した場合に必要な値上げである。

〔質疑〕 第6期計画期間における介護保険料の基準額が2割も上昇しており、市として市民負担についてどう考えているのか、また、第4期、第5期計画の検証が出来ているのか。

〔説明〕 第4期、第5期計画期間における介護保険料の基準額が4,800円、第6期計画期間が5,760円に上昇した理由としては、第4期計画期間から第5期計画期間については、介護給付費準備基金を活用しできる限り抑えたが、今後、介護給付費の伸びが大きくなることが十分想定され、介護予防も含めて一生懸命行い何度も精査した結果であり、第6期計画では、応能負担の考え方が追加されたため、高額所得者には応分の負担をお願いする。



平成27年度より  
介護保険料の基準額が  
4,800円から5,760円  
へと変更になります。

## 産業建設委員会

### ● 請願第13号 海洋環境整備事業の充実と「緊急確保航路」の指定を求める意見書採択に関する請願書

〔説明〕 震災等があった場合には、港湾局長の判断により震災等のあったところに船を派遣し、航路を確保し、支援物資等も運ぶ緊急確保航路の制度が作られたが、指定は、東京湾、伊勢湾、大阪湾のみで、紀伊水道を含む瀬戸内海が適用範囲外となっており、瀬戸内海全域において緊急確保航路の指定を行い、国の直轄事業として行うよう国に対して意見書の提出を求めるもの。

〔質疑〕 国が決めた緊急確保航路と、現場の声が違うことから、その違いについて、現場の職員としてどのような思いがあるのか。

〔説明〕 現業職員である行政職2号職員を採用しないという方針があることから技能職員が高齢化しており、小松島港湾整備局においても今月末に船長が退職した後、補充がない状態であり、このままでは、国の直接の事業として成り立たない状況になることから、緊急確保航路に指定されれば、担当する船舶については、技能職員が乗り込み、経験・知識に裏付けされ、事業を直接行うことが出来ることから、指定を求めるもの。

〔意見〕 東日本大震災等、非常事態が起こったことから、港湾法が改正され、緊急確保航路が指定されることとなり、また現場の声として、専門的な知識のある職員の配置が必要なことから、この願意に添いたい。

## 予算決算委員会

### ● 議案第3号 平成27年度鳴門市一般会計予算

〔説明〕 胃がんリスク検診のうちABC検診は、血液検査のみで判定出来る利点があり、対象年齢は40歳から49歳としており、50歳代の方には、内視鏡検査による対応を検討したい。

〔意見〕 ABC検診は非常に有効な手立てだと思うので、積極的に周知し、検診率を上昇させて欲しい。また、大腸がんの検診率も低いので上がるように取り組んで欲しい。

〔説明〕 農地中間管理機構の制度は、地域の農業の担い手に対して、使いやすいように貸借を促進し、農地を集めていこうとするものであるが、本市においてはまだ制度の利用がない。

〔意見〕 個人間で無償で農地の貸し借りをしている場合があるので、この制度を活用すれば、貸した方も、協力金等が支払われることから、広く周知してほしい。

# 一般質問

## 代表質問

### ●林 勝義 (会派 郷土)

#### 1. 市長の政治姿勢について

(1) 長期的展望に立った行政運営について

#### 2. 競艇事業について

(1) ボートレース鳴門新スタンドについて

(2) ボートレース鳴門周辺エリアの整備について



### ●圃山 俊作 (会派 志)

#### 1. 市長の政治姿勢について

(1) 防災対策の推進について

(2) アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクトについて

### ●三津 良裕 (会派 創心クラブ)

#### 1. 市長の政治姿勢について

(1) 平成27年度当初予算について

(2) 鳴門市の財政状況について

#### 2. 都市環境の整備について

(1) 四国の玄関口としての鳴門市の環境整備について

#### 3. 土木行政について

(1) 明神・日出線について

### ●松浦 富子 (会派 公明党鳴門市議団)

#### 1. 市長の政治姿勢について

(1) 地方創生について

(2) 子どもの貧困対策について



### ●谷崎 徹 (会派 有志会)

#### 1. 市長の政治姿勢について

(1) 地方創生について

(2) 子ども・子育て支援新制度について

(3) 危険老朽空き家対策について



### 傍聴にお越しください

・本会議…議場

(受付：東側階段より3階傍聴席入口)

・委員会…委員会室

(受付：中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

当日、傍聴券をお渡します  
ので、受付にてお名前、ご住所、  
年齢をご記入ください。  
職員がご案内いたします。

## 代表質問



会派 郷土  
はやし かつよし  
林 勝義

### ◆市長の政治姿勢について

問 鳴門市は老朽化した本庁舎の整備に今後どのように取り組んでいくのか。

答 平成2年度より将来的な庁舎の建てかえも視野に入れ庁舎整備基金を積み立てていますが、平成26年度末の残高は約7億4100万円あり、新たに庁舎を建設するた



築50年を経過した本庁舎

めにはこの基金も含めた財源の確保が必要となります。こうしたことから今後は平成28年度策定予定の公共施設等総合管理計画において将来の市有施設のあり方や長期の財政収支見通しを十分精査していくなかで、庁内での調査検討を進めていきたいと考えています。

### ◆競艇事業について

問 ボートレース鳴門新スタンドの設備改善について。

答 新スタンド建設事業は現在、順調に進捗しておりコンパクト・地域開放・人に優しい低コストで省エネ・防災をコンセプトに建設します。新スタンドにおいてはエントランスから観客席までをエスカレーターやエレベーターでつなぐことにより移動の負担を軽減できるようにするとともに、お客様が観戦するガラス面にノンリブガラスを採用することによって観客席から競走水面を見やすくします。さらに、第1ターンのマークに近い部分にダイナミックキャビンを設置レースの迫力を楽しみながら舟券を購入できるようにします。

## 代表質問



会派 創心クラブ  
みつよし ひろせ  
三津 良裕

### ◆市長の政治姿勢について

**問** 鳴門市の課題解決に向けて、平成27年度当初予算において、最も重点を置いたことは。

**答** 本市の人口減少が続く中、公共施設の耐震化、防災対策、子育て・教育環境の充実に配慮し、本市の魅力向上や定住人口の確保、交流人口を拡大する施策のための予算としました。

**問** 歳出の人件費、扶助費、公債費の合計が、歳入の自主財源をはるかに上回っている。人件費と公債費の今後の見通しは。

**答** 扶助費は増加傾向で、公債費も高止まりが続き平成28年度が最大になることが想定されます。市税は減少傾向にあり、今後も財源不足が想定されます。実質公債費比率は、平成28年度もしくは平成29年度において地方債の発行許可団体になる18%に近く可能性があり、財政状況は楽観視できないと考えています。

**問** 行財政改革を進めて、事業の取

り組みに優先順位をつけた取捨選択が必要では。

**答** 予算編成にあたって、事業の緊急性・必要性を考慮し、投資的事業については選択と重点化を行い、年度間の平準化を図りました。

### ◆都市環境の整備について

**問** 旧ごみ焼却場施設の跡地利用について。

**答** 跡地の一部を災害時の避難場所や救援基地となる防災広場としたいと考えています。

**問** JR 鳴門駅周辺の整備事業について。

**答** 今後策定する基本計画の中で鳴門の玄関口にあふわしい景観・空間となるよう検討したいと考えています。



JR 鳴門駅周辺

**問** 高速バス停周辺の整備事業について。

**答** 本市の主要な交通拠点として整備しています。

### ◆土木行政について

**問** 市道明神日出線の整備事業について。

**答** 残りの4期、5期工事区間の整備に取り組んでいきます。

## 代表質問



会派 有志会  
たけし たに  
谷崎 徹

### ◆市長の政治姿勢について

**問** 国の平成27年度予算で地方創生関連予算がうたわれているが、この機を逃すことなく、流れに取り残されないようにしなければならぬ。まち・ひと・しごと創生法で努力義務としている鳴門市版人口ビジョン並びに総合戦略についての策定期間と内容は。

**答** 鳴門市版総合戦略については、来年度予算に反映可能な11月頃までに策定し、内容については、国の総合戦略に掲げている4つの基本目標である「▽安定した雇用の創出▽新しい人の流れをつくる▽結婚、出産、子育ての希望をかなえる▽安心なくらしを守る」とともに地域と連携する「など、本市の特性にあった地方創生が展開できるように検討していきたいと考えています。

**問** 子ども・子育て支援新制度については、保育所・幼稚園・認定こども

園に対しての国の財政支援が二元化され、保育環境の量的、質的拡充が図られるとのことだが、保護者にとつて関心の高い保育料について、どのような見直しがされたのか。

**答** 平成26年度では国から示された所得階層は8階層ですが、本市では13階層として、特に、中間世帯の負担軽減を行いました。今回の見直しでは、大半の階層で、その額を据え置いており、幼稚園より保育料が高くなっていた階層については負担額を引き下げ均衡を図ります。また、公立幼稚園の保育料は月額8800円の定額としていましたが、新制度では、国から5段階の所得階層ごとの上限額が設定され、本市では、細分化し6段階の所得階層を設定しました。今後、保育料の見直し内容について、保護者の皆様への周知を図ってまいります。



公立幼稚園の保育料は細分化へ

### 代表質問



志 派 会  
はたけやま しゅんさく  
圃山 俊作

#### ◆地震のメカニズムについて

**問** 阪神淡路大震災当時、鳴門市は震度4で大きな被害を出し、平成27年2月6日におきた地震では、県南部の牟岐町では震度5強を記録したが人的被害がなかったことについて、地震の発生メカニズムとあわせてどのように分析・判断し考えているのか。

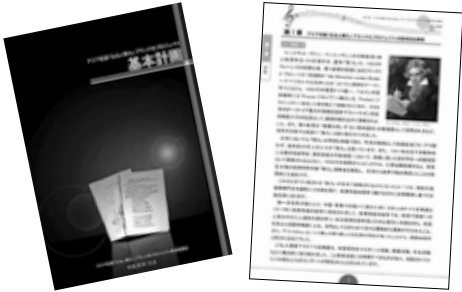
**答** 南海トラフで発生する地震は、海のプレートが沈み込む時に陸のプレートを地下に引きずり込んでいき、陸のプレートが引きずりに耐えられなくなり、跳ね上げられるときに発生します。また、震度と発生する被害の関係については、一般的には震度が大きくなれば、被害の程度も大きくなっていくものと想定されます。ただし、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況、住居の集まり具合などにより被害の程度は異なり、阪神淡路大震災当時は、地震の計測が徳島市で行われており、震度4は徳島市の数値であり、本市はより大きな震度であった可能性があること、また、震災当時は、地震の揺れに強い建物の比率が少なかったことが想定され、牟岐町などに比べると本市が液化化など揺れの影響をうけやすい地盤となっていることが考えられます。

#### ◆観光・文化について

**問** アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクトにおける観光・文化・教育・環境分野での指導体制づくりをどのように行っていくのか。

**答** 「なると第九」は戦争がもたらした「負の遺産」が多い中、戦争を乗り越えて育まれた友愛の精神を証明する「正の遺産」として認知されるべき素晴らしい財産であり本市から国内外に向け発信できればと考えています。アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会には4つの専門部会があり、さらに全庁的な取り組みとするために、副市長を座長とする部長級の庁内会議を設けており、現在、アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト基本計画に続き、計画的、効率的な事業の進捗を図るため、実施計画に向け、検討を進めているところです。

今後は、アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会を中心に、産・学・官・民が連携し継続的に「なると第九」ブランド化を推進していくため、将来を見据えた持続可能な方針や事業を検討し実施していきたいと考えています。



第九ブランド化基本計画

### 代表質問



公明党鳴門市議団  
まつうら とみこ  
松浦 富子

#### ◆地方創生について

**問** 地方活性化をめざし2015年度中に地方人口ビジョンと地方版総合戦略を策定する事になるが、その地方創生のリーダーとなる人づくりが重要となるが本市の考えは。

**答** 平成23年に制定しました自治基本条例の中で人づくりを基本理念の一つとして掲げており、まちのリーダーとなる人づくりの推進は重要であると認識しており、新たな人材の確保など人づくりに係る各施策を行っていきます。また、人への施策だけでなく、まちの魅力を高める仕事をつくる施策をあわせて行っていくことが人を呼び寄せ育成する事にもつながると考えており、各施策を効果的に組み合わせた総合戦略を策定したいと考えています。

#### ◆子どもの貧困対策について

**問** 本市における生活保護受給世帯の子どもやひとり親家庭の子どもへの貧困対策の現状と貧困の連鎖にならないための今後の対策は。

**答** 生活保護受給世帯に属する子どもたちへの支援として、現在、中学3年生の子どもと保護者を対象に高校入学まで段階的に支援を行う高校進学等支援プログラムを実施しています。また、ひとり親家庭への支援として児童扶養手当等の経済的支援や求職を支援するための自立支援給付事業を行っています。今後の子どもの貧困対策として平成27年4月より新たに生活困窮者自立相談支援事業において貧困状態にある家庭の自立に向けた相談、住宅確保、就労訓練などの支援を包括的に実施します。



鳴門市生活自立相談支援センター



# 個人質問

## ●叶井 克典

1. 教育行政について
  - (1) 教育環境について
2. 防災行政について
  - (1) 災害時の対応について
3. 土木行政について
  - (1) 道路補修について

## ●浜 盛幸

1. 防災・減災行政について
  - (1) デジタル防災行政無線について
  - (2) 震災等による路面下の空洞化について
2. 教育行政について
  - (1) 日本遺産制度について

## ●上田 公司

1. 職員の処遇について
  - (1) 非正規職員について
  - (2) 正規職員について
2. 学校教育について
  - (1) 特別支援について

## ●川田 達司

1. 福祉行政について
  - (1) 第6期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画について
  - (2) 認知症者の見守りネット構築について

## ●山根 巖

1. 教育行政について
  - (1) 魅力ある学校づくりについて
  - (2) 学校給食のあり方について
2. 情報交流人口を増やすための取り組みについて
  - (1) 市公式ウェブサイトについて

## ●東谷 伸治

1. 鳴門市の資産の整理について
  - (1) 未利用施設等の現状について
  - (2) 資産管理計画の策定について

## ●平塚 保二

1. 下水道行政について
  - (1) 機構改革の効果について
  - (2) 公共下水道と合併処理浄化槽の進め方について
2. 消防行政について
  - (1) 救急搬送について
  - (2) 救急救命士の役割等について



## ●秋岡 芳郎

1. スポーツ行政について
  - (1) 鳴門市スポーツ推進計画について
  - (2) スポーツ施設の整備について
2. 高齢者対策について
  - (1) 健康づくり及び高齢者の健康について
  - (2) 高齢者世帯の公共下水道事業について

## 《傍聴席》



傍聴人の定員は40名です

## 個人質問



かない かつのり  
叶井 克典

### ◆教育行政について

**問** 近隣市町の学校の教育環境と比べると劣っていることが学力向上に影響があると思うが。

**答** 様々な教育機器の整備を図ることは、児童生徒の学習に対する意欲や興味関心を高め、学力向上につながるため必要不可欠であると認識しており、今後も教育環境の充実に努めていきたいと考えています。

### ◆防災行政について

**問** 災害時に踏切の遮断機がおりるなどしてJR鳴門線が避難の妨げになるようなことを想定したうえでJR四国との連携ができていますか。

**答** 地震発生時に踏切に遮断機がおりるなどの課題についてJR四国とも情報交換を行うとともに、国の動向を注視し、研究していき

### ◆土木行政について

**問** 道路の補修等はどのように行っており、水道事業と連携し水道管布設工事時に、全面舗装をするなどできないのか。また、インフラの長寿命化のため予防保全の包括委託についての研究は。

**答** 道路補修は、現状を把握し必要性、緊急性を勘案し優先順位をつけ計画的に進めています。また、水道事業との連携については、道路の状態が悪いときは全面舗装するなど対応しています。また、インフラ長寿命化については、包括的な委託を含めて、先進的な事例も調査・研究したいと考えています。



遮断機が避難の妨げにならないように

いと考えています。

## 個人質問



幸 盛 せいこう  
はま 浜 はま

### ◆防災・減災行政について

**問** 東日本大震災時の例によると交通網の寸断や、情報通信機器の麻痺などにより、人命救助や復旧等に欠かせないインフラの老朽化の問題が指定された。また、路面下の空洞化による道路陥没により救援・復旧活動に大きな支障が起きたとのことであるが、現在、路面下の空洞調査は、車で道路を通過するだけで簡単に発見できる調査機器が開発されているが、本市の路面下の空洞調査への対応は。

**答** 地震等の災害時に路面下の空洞を原因とする道路陥没事故を未然に防ぐため、速やかな総点検、再整備が求められます。本市でも、平成28年度に橋梁点検を終え、平成29年度より、道路のひび割れやたわみ等の道路状況を確認し、この結果をふまえ、道路調査車等を用いた空洞調査の検討を考えています。

### ◆教育行政について

**問** 文化庁は、世界遺産登録を目指すものについて、日本遺産と位置づけ文化財の保存整備や活用、発信、伝統芸能・工芸を含む文化芸術の創造、発信を通し、観光推進、文化・芸術創造都市機能強化につながることを目的で日本遺産認定制度の創設を目指すことを決定した。認定遺産に対し国の支援もあるが、本市の認定に関する取り組みは。

**答** 本市では、日本遺産認定申請の前提条件である国指定文化財の認定を受けるため、現在、板東俘虜収容所跡及び鳴門板野古墳群の国指定史跡化を目指しています。これらの史跡は、地域の歴史的特長を顕著に表しており、周辺地域に点在する様々な文化遺産の核となることから、まず国指定史跡化を優先しその価値を評価していたのだいたうえで、日本遺産認定申請を考えています。



板東俘虜収容所跡に建つドイツ村公園

## 個人質問



上田 こうじ  
うえだ こうじ

### ◆職員の処遇について

**問** 臨時的任用職員の通勤手当や有給休暇については、正規職員とさしたる差をつけなくてはならない明確な理由もないことから、正規職員と同じ取り扱いとするべきでは。

**答** 臨時的任用職員の勤務条件については、他団体よりも有利な条件とすることは困難と考えていますが、今後、他団体の状況について調査研究を行い必要に応じ勤務条件等の見直しを行っていきたいと考えています。

**問** 有料化された職員駐車場について、抽選に漏れた職員はずっと高い駐車料金を払い続けることとなるケースも考えられるが、市としては今後この問題について改善するつもりがないのか。

**答** 職員駐車場の有料化については、平成27年1月から本格実施

し、運用していく中でさまざまな問題も生じてくるものと考えていますが、今後、毎年抽選を行なうなど公平性を担保した制度運営となるよう工夫していきたいと考えています。



職員駐車場有料化により駐車スペースに余裕ができた文化会館駐車場

### ◆学校教育について

**問** 特別支援教育において、子供たちに向けた個別の教育支援計画と指導計画が作成されていると思うが、市としてこれらの2つの計画についてどのように取り組んでいるのか。

**答** 今後改めて全ての学校に対して、保護者との連携のあり方等について指導を行い、学校と保護者の共通認識のもと、計画に基づいた適切な指導や必要な支援を行うことができる体制づくりに努め、子供の可能性を最大限に伸ばす教育支援を目指していきたいと考えています。

## 個人質問



かわた たつじ  
川田 達司

### ◆新たな高齢者福祉計画について

**問** 新年度から始まる第6期介護保険事業の新たな施策と介護保険料の基準額について。

**答** 高齢化の進展に伴い現在の体制では、地域包括支援センターは地域包括ケアシステムの核としての役割を十分果たせていないことから、後方支援となる機能強化するため新たな「基幹型地域包括支援センター」を鳴門市社会福祉協議会に設置し、高齢者の認知症初期集中支援チームによる認知症者やその家族支援に取り組むとともに介護予防事業を積極的に実施します。介護保険料の基準額については国の制度改正や統合事業に移行するサービス、給付費適正化等を精査した結果5760円を新たな基準額としました。

### ◆徘徊高齢者の見守り体制について

**問** 認知症を起因とする高齢者の徘徊を地域で見守る体制や徘徊高齢者を早期に見守るためのGPS装置などの補助支援について。

**答** 現在、鳴門警察署を事務局とする「高齢者SOSうずしおネットワークシステム」が運用されており、平成27年度より本市においては関係団体等と連携し「鳴門市認知症SOS徘徊ネットワーク会議」の開催に加え、平成27年3月11日から運用される「デジタル防災行政無線」を活用し、地域をあげた支援や行方不明者の捜索マニュアル等を整備していきます。徘徊者の早期発見のためのGPS機器の補助支援について有効な手段で先進的な取り組み事例もありますが、基本料金や緊急に依頼した時の利用負担など幾つかの課題もあることから今後も引き続き支援に向けての調査や研究をしていきたいと考えています。



行方不明者を探すためにデジタル防災行政無線も活用

## 個人質問



やまね いわお  
山根 巖

### ◆教育行政について

**問** 電子黒板やデジタル教科書などのICT機器をどのように整備充実しどのように授業に活用していくのか。

**答** 平成26年度に小学校6年生用と中学校1年生用として21台を整備し、平成27年度には小学校6年生用に6台、中学校1年生用に11台を追加整備します。ICT機器の活用については児童・生徒の学習に対する意欲や興味・関心を高め、わかる授業を展開していきます。

**問** 食育の観点から米飯給食時における牛乳なし給食の実施について。

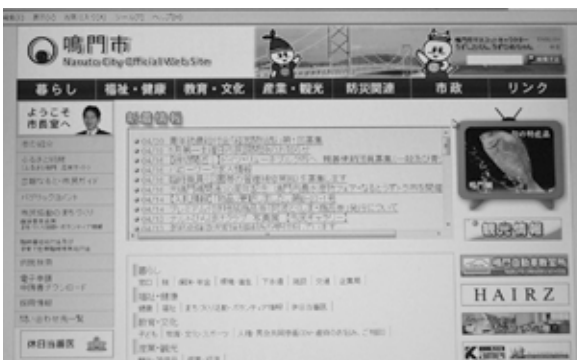
**答** 本市の学校給食においては原則として牛乳を含む献立としています。献立の工夫によってはカルシウムの摂取等を他の食品で一定程度は代替できることや伝統的な食文化の継承について配慮する観点から牛乳なしで学校給食摂取

### ◆情報交流人口を増やすための取り組みについて

**問** 市公式ウェブサイトのリニューアルについて

**答** 3つの基本方針のもと新たなシティープロモーションに取り組みとともに、見やすい親しみの持てるトップページやスマートフォン向けサイトを構築します。また、ICTを活用した取り組みとして、災害時緊急情報メール配信サービスの更新や不審者や徘徊者の方の情報についてのメール配信サービスの導入を検討します。

基準を満たす献立ができるかどうか検討していきます。



本年度中にリニューアルされる市公式ウェブサイト

## 個人質問



ひがしだに しんじ  
東谷 伸治

### ◆公共施設のスクラップ アンドビルドについて

**問**公共施設の老朽化が進んでいる中、今後公共施設の延べ床面積を増やさないことが、絶対条件であるように考える。そこで必要になるのが、一つ建てると一つ廃止するスクラップアンドビルドの原則であるが、平成27年度において廃止される施設にはどのようなものがあるのか。また会計上、本市の有形固定資産の減価償却はどのように行われているのか。

**答**旧ドイッ館、旧母子寮を売却し、旧鳴門市立板東病院や、旧堀江保育所、旧板東保育所、旧大津保育所についても売却する予定です。さらに、旧ごみ焼却施設についても解体撤去の費用として2億7300万円を予算計上しています。有形固定資産の取り扱いについては、原則として取得原価で評価し、資産の種類ごとにまとめて減価償却を行うにとどまり、固定資産単



利活用が検討されている旧衛生センター跡

位での減価償却等の処理は行っていません。しかし、今後は財政状況を正確に把握するためにも、現金の出入りの管理だけではなく、ストック情報を重視し、固定資産台帳の整備を行い、平成28年度決算から新たな基準に基づく財務諸表の作成を目指します。

**問**旧ごみ焼却施設解体後の跡地利用については。

**答**今後の利用方法としては、災害時の避難場所や救援基地となる防災広場として活用したいと考えています。

## 個人質問



ひらつか やすじ  
平塚 保二

### ◆下水道行政について

**問**現在、本市での汚水処理人口普及率向上のために下水道への接続と合併処理浄化槽の普及についてどのような取り組みを推進するのか。

**答**下水道への接続については接続時に必要となる個人負担軽減を図るため複数の方に同時に接続申請していただくグループ申請制度を御利用いただくことにより、以前に比べて接続に積極的な方がふえつつあるように感じています。合併処理浄化槽についても既設の単独処理浄化槽やくみ取り槽を撤去して合併処理浄化槽を設置する方の個人負担軽減を図るため設置費の一部を補助する制度を設けています。今後もさらなる市民の皆様への汚水処理意識の向上のため周知及び普及啓発に努めていきたいと考えています。



ドクターヘリの着陸場所のうすしおふれあい公園

### ◆消防行政について

**問**救急患者を搬送するドクターヘリはどのようなときに使用されるのか、また、どこに搬送するのか。

**答**ドクターヘリの出動要請があると、医師と看護師が搭乗し、生命の危機に切迫している可能性のある傷病者を治療した後、症状に適した医療施設に搬送します。県内においては徳島県立中央病院が基地病院となっておりドクターヘリの着陸場所の一つであるうすしおふれあい公園までは出動要請から約5分で到着します。

個人質問

個人質問



あきおか よしろう  
秋岡 芳郎

◆スポーツ行政について

**問** 鳴門市スポーツ推進計画における体育施設の整備について、特に温水プールと市営球場の整備方針は。

**答** 温水プールは市民アンケートや鳴門市スポーツ推進審議会での整備の要望があり、国や県、他市町村の状況の情報収集に努め、整備の手法等を研究していきます。市営球場については利用者の安全確保と快適にプレーできるような方策を検討します。



いきいき健康教室（黒崎集会所）

◆高齢者対策について

**問** 高齢者の健康づくりのためのスポーツ等の現状と方針は。

**答** 本市では、健康づくり対策として、スロージョギング教室、運動機能の低下を防ぐ貯筋クラブ教室やいきいき運動教室等を実施しています。また、ウォーキングやカローリング、グラウンドゴルフなど軽スポーツに取り組んでいる高齢者の方も多くいると思われまます。今後も、総合型地域スポーツクラブ等と連携を図りながら、介護予防事業として、中国健康体操教室やシニアハワイアンフラ教室など生涯にわたり気軽に参加できるスポーツの場の拡充を図ります。また、チャレンジデー等のイベント実施により、スポーツ活動のきっかけづくりを行い、継続的にスポーツ活動の機会を作るため、生涯スポーツ推進事業補助金の創設などを考えています。

**問** 高齢者世帯への公共下水道事業に関する支援策の検討は。

**答** 高齢者で構成される低所得者世帯に対し、1人につき1ヶ月当たり8㎡分の使用料減免を実施し、また、複数の方に同時に接続申請していただくグループ申請制度を御利用いただくことが高齢者支援にもなると考えています。

人事案件

●固定資産評価審査委員会委員

- はらうち ひでみ 原内 日出美 氏（北灘町）
- とみだ たかお 富田 崇夫 氏（大麻町）
- たけばやし ひさよ 武林 久代 氏（里浦町）
- はっとり よしこ 服部 善子 氏（撫養町）
- なかず まり 仲須 眞理 氏（大津町）
- ほそい かずお 細井 一夫 氏（瀬戸町）

●人権擁護委員

- あらかわ ふくえ 荒川 富久枝 氏（撫養町）
- かなざわ としあき 金澤 利明 氏（大麻町）



第2回定例会の開催予定

平成27年第2回定例会は、5月28日から6月16日までの20日間の予定です。

- 5月28日(木) 第2回定例会 開会 **イケ**  
予算決算委員会 **イ**
- 29日(金) 一般質問通告締切
- 6月3日(水) 一般質問(会派代表質問) **イケ**
- 4日(木) 一般質問(個人質問) **イケ**
- 5日(金) 一般質問(個人質問) **イケ**  
予算決算委員会 **イ**
- 8日(月) 総務文教委員会 **イ**
- 9日(火) 生活福祉委員会 **イ**
- 10日(水) 産業建設委員会 **イ**
- 15日(月) 議会運営委員会・全員協議会
- 16日(火) 第2回定例会 閉会 **イケ**

**イ**: インターネットで中継・録画配信  
**イケ**: ケーブルテレビで中継・録画放送

市議会では、市民の皆様に分かり易い、開かれた議会を目指し、本会議や常任委員会、また特別委員会などについては、インターネットによる生中継と、録画による配信も行っており、いつでもご覧いただけます。  
なお、本会議は、ケーブルテレビのテレビ鳴門でも、生中継に加え、録画放送を行っております。是非ご覧下さい。

## 市の予算の使い道について議論しました

7日間にわたり、予算決算委員会および各分科会を開催し、平成27年度予算・平成26年度補正予算に関する26議案について審査しました。

委員会での審査の中で出た質疑、意見・要望やそれに対する答え、説明を抜粋しました。  
 (●説明・答え ★意見・要望 ■質疑)

## 教育・文化

### 【子ども・子育て】

●子ども・子育て支援新制度に関連して、保育所と認定こども園で著しく差があった場合、認定こども園に対して市として関わることはできるのか。

●幼稚園部分については学校教育の観点から、保育の部分については児童福祉の観点から市も関与できると考えている。

●子育て世帯臨時特例給付金について来年度からは給付金の金額、支給方法等大きく内容が変わる予定であるため、詳細が決まり次第、広報等で周知をはかりたい。

★支給漏れがないように努めて欲しい。

### 【教育・文化】

●「なると第九」ブランド化推進基金の用途については、現段階では、「第九」アジア初演100周年記念事業における、演奏会のための費用を想定しており、積立ての方針については、寄附をいただいた金額の倍額を積み立てる。

★「第九」アジア初演100周年記念事業をもっと全国的に、国際的に広めていかないといけない。単に、文化交流推進課だけでなく、商工政策課、観光振興課との連携はもちろん、プロジェクトチームを作って対応していく必要があるのでは。



■新学校給食センター建設予定地は液状化の危険性があるが調査結果で問題はなかったのか。

●市では数種類の地質調査と薬品の漏出による土壌汚染の有無の調査を行い、その結果を徳島県に届け出て問題はない。建物の基礎は液状化の影響を受けない部分に作るため建物自体は心配ないが、周辺から水が出たりすれば出入りが困難になることも想定される。

## 福祉・健康

### 【福祉】

●現在5カ所ある地域包括支援センターの機能強化をはかるため、基幹型地域包括支援センターの設置を鳴門市社会福祉協議会に委託することを想定しており、各地域包括支援センターが抱える困難事例の対応、認知症対策、生活支援サービスの創出などの後方支援等を実施する予定である。



★地域包括支援センターは、ケアプランの作成だけでなく、総合相談窓口等の様々な役割があるが、民間に委託しているため利益に重きがいく傾向にあるがそれを管理するような基幹型地域包括支援センターとなるようにしなければならないのではないか。

●臨時福祉給付金給付事業補助金について、本市の支給実績は、国が推計した支給対象者の見込み数を基にすると申請率92.7%、支給率は85.9%であり、平成26年度は広報紙やチラシで周知を行い、対象となり得る方には個別に案内文書を送付した。

### 【健康】

●国民健康保険加入者の平成27年度における、人間ドック、脳ドックの定員は360名、90名を予定しており、平成26年度よりそれぞれ10名、30名の増としており、受診病院については市内2カ所であり、受診者枠を増やすことに非常に苦慮している。

★市内の病院だけでは受診者枠に制限があるため市外の病院での受診を検討することは出来ないのか。

## 暮らしを守る

### 【防災・災害】

★国の補助要件から外れるため、ため池ハザードマップには載らない田畑のない住宅地のため池や管理者が不在で放置されているため池が市民の身近にあり危険な場合には、実態を調査・把握し対策を講じておくべき。

★大規模災害が発生した時のボランティアの受け入れはボランティアセンターに中心となり行ってもらう必要があり、その時のための人材研修ができるように鳴門市ボランティアセンター活動補助金をもっと増やして欲しい。



### 【消防】

●本市の消防団員数は、維持・微増で推移している。しかし、消防団員には被雇用者が増えており、災害の発生時に緊急に集まりにくい状況にある。隣接する分団との再編により地域防災力の底上げに努めたい。

★消防活動の中で重要な部分を占める自主防災組織に対しても、組織の高齢化が進む中、消防団や消防組織による活動の拡大への支援に努めてほしい。

★消防団員の増員にも限界があることから、今後は消防署員や救急救命士を増員し、消防本部体制の強化にも力を入れていくべき。

## 市民生活

### 【税】

■市民税、固定資産税等の予算計上額が平成26年度当初予算より減額となっている要因と今後の見通しは。

●人口減少や高齢化による納税義務者数の減少や地価の下落、消費税率の引き上げ以降のたばこの買い控え等により、固定資産税や個人市民税、市たばこ税について、3億円あまりの減少と見込んでおり、今後もその状況は推移するものと考えている。

### 【消費者行政】

●消費生活に関する相談件数については、平成24年度と平成26年度を比較した場合、著しく増加しており、平成26年度から鳴門市消費者協会に対する委託の中身を見直し、鳴門市消費生活センターにおける相談員のサポート業務を加えた。

★専門的な知識を持っており、また、相談件数も増えてきているため、相談員の待遇改善を検討してほしい。

### 【市民活動】

●We Loveなるとまちづくり活動応援補助金については平成25年度から始まった補助金であり、市内で活動しているNPO法人、ボランティア団体、市民活動団体等が自主的に行う公共的な活動を公募提案で募集し、審査のうえ、補助金をそれぞれ交付するものであり、平成27年度については50万円増額して、150万円としている。

★We Loveなるとまちづくり活動応援補助金はボランティア団体とNPO法人等が、今まで出来なかったことができるように、また、これから始めようとするきっかけ作りとして非常に重要かつ有効な補助金であり、実績等の追跡調査をしっかりと行って欲しい。

### 【環境・衛生】

■EMの効果についての検証結果は。

●配布した団体から、EMを散布したところ臭気がなくなった、溝が綺麗になってきた、家庭排水の浄化やトイレ等の脱臭が出来た、キッチン等の清掃で汚れが落ちやすくなった等の使用後の感想、意見をいただいております効果があるものと理解している。

★EMには、このような効果があったと、もっと市民にアピールして欲しい。



### 【下水道】

★下水道使用料が平成25年度から比較するとあまり増えておらず、全員に加入してもらうことが基本だと思うので、現行の施策に加えて、できるだけ全員に納得して加入してもらえるような施策を検討してほしい。

## 観光・産業

### 【観光】

●徳島ヴォルティスが、J1であったときの昨年1年間のホームゲームへの来客数は、15万人を超えており、J2の時の約2倍であったことから、J2に降格にはなったが、再びJ1に昇格するための応援を継続して、そのための施策を行い、盛り上げてほしい。



### 【企業】

★ボートレース鳴門の外向発売所の指定席使用料について、来客者が高齢になってきていることから、指定席及び指定席以外の席の形状や使用料について、改めて考えた方がよいのではないかと。

●ボートレース鳴門本場の指定席は、今までは1種類であったが、新スタンドでは、グレードの違う指定席も作る予定であるので、それと合わせて外向発売所の方も、検討していきたい。

## その他

### 【まちづくり】

★渡船は市外では少なくなってきたと、特色のあるものだと思うので、地元の利用者数の減少を考慮して、観光にも活用できるように検討してほしい。

■本市のバス事業が徳島バス株式会社に民間委託されたことの効果については。

●乗り継ぎについては委託前から配慮してダイヤを組んでおり、利便性はあまり変わらないが、不十分な点についてはできる範囲で対応していきたい。

★バス事業が民間委託されたことにより自由度が高まるのではと認識しており、今後も利便性の向上に努め、改善し続けてほしい。

### 【資産管理】

■集会所の今後の方針については。

●公共施設等総合管理計画を平成28年度を目処に策定する予定としており、そこでの位置づけに際し、人口減少や財政の収支見通しをふまえ、地元の皆さんと協議しながら最適な配置について計画していく。

●土地売却収入の3,000万円については、旧の堀江・板東・大津の各保育所等の土地の売却を予定している。



# 市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。  
本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールでお寄せください。

## 募 集 中



- ① 議会だより紙面について(感想、ご要望など)
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問  
文の様式は問いませんが、300字以内とします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真  
カラープリントで、できれば鳴門市ならではのもの、季節感のあるものをお願いします。

- ※ 内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。  
(紙面には年齢・性別のみ掲載させていただきます。)
- ※ 紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 投稿していただいたものは返却できません。
- ※ 写真は表紙に掲載させていただきますが、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますのでご了承ください。

✿宛 先✿ 鳴門市議会事務局  
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地  
☎ (088) 684-1234 / 📠 (088) 684-0814  
✉ gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご応募をお待ちしております …



## ～ 編集を終えて ～

今日から6月ですね。97年前の1918年6月1日、板東俘虜収容所でドイツ兵捕虜によって、ベートーヴェン「第九」交響曲がアジアで初めて全曲演奏されました。

初演の背景には、収容所所長である松江豊寿をはじめとする、職員の捕虜に対する人道的な処遇や、捕虜と地元の人々との国境を越えた心温まる交流など、まさに「第九」が持つ人類愛の精神を体現した史実がありました。

その精神は現在でも市民を中心に受け継がれ、今年も6月第一日曜日に「第九」演奏会が行われます。



### (議会広報委員会)

委員長：東 正昇  
副委員長：松浦 富子  
委員：上田 公司・大石美智子・叶井 克典  
野田 粹之・圃山 俊作・山根 巖

## 議会活動(平成27年3月～5月)

### 3月

- 2日 生活福祉委員会
- 3日 産業建設委員会
- 4日 予算決算委員会第1分科会
- 5日 予算決算委員会第2分科会
- 6日 予算決算委員会第3分科会
- 7日 大鳴門橋開通30周年記念オープニングイベント渦フェスタ
- 9日 議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会  
本会議  
附属機関設置審査特別委員会  
総務文教委員会
- 11日 滴翠クラブ3月例会(徳島市)
- 12日 予算決算委員会全体質疑(特別質疑)
- 13日 予算決算委員会
- 14日 徳島自動車道(鳴門JCT～徳島IC/松茂スマートIC)開通式
- 15日 阿波えらいやっちゃツアーデーウォーク出発式  
NARUTO総合型スポーツクラブ設立総会
- 16日 議会運営委員会  
全員協議会
- 17日 閉会  
市表彰審査委員会
- 22日 北灘東・西幼稚園休園並びに北灘東・西小学校休校式
- 24日 市シルバー大学卒業式
- 27日 議会広報委員会
- 29日 鳴門市吟剣詩舞道大会

### 4月

- 8日 市内新規就職者激励大会
- 9日 黄色い帽子贈呈式(堀江北小)
- 10日 黄色い帽子贈呈式(堀江北幼)
- 16日 議会広報委員会  
市表彰審査委員会
- 19日 市身体障害者連合会総会
- 28日 議会広報委員会
- 29日 藍住町制施行60周年記念式典(藍住町)
- 30日 議会運営委員会

### 5月

- 2日 市保育協議会定期総会
- 8日 市婦人連合会総会  
市幼小中PTA連合会総会
- 9日 市子どものまちづくり推進協議会総会
- 10日 市戦没者追悼式
- 11日 石巻市議会(宮城県)会派視察来庁
- 12日 市老人クラブ連合会総会  
天童市議会(山形県)委員会視察来庁
- 13日 議会広報委員会  
第2回定例会日程協議
- 14日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会  
定期総会(山口県)
- 15日 市制施行68周年記念表彰式  
市人権教育推進協議会理事会・研修会
- 18日 市民生委員児童委員協議会総会
- 19日 徳島県市議会議長会定期総会(阿波市)
- 21日 議会運営委員会
- 22日 シルバー人材センター定時総会  
大麻町商工会通常総会
- 25日 市防犯協会理事会及び総会  
市環境衛生組合連合会総会
- 26日 四国市議会議長会定期総会(徳島市)
- 27日 鳴門市チャレンジデー2015
- 28日 第2回定例会開会  
予算決算委員会
- 29日 議会だより配布

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。